

GUITAR AMPLIFIER VX SERIES



取扱説明書

ごあいさつ

このたびは、YAMAHA ベースアンプ VX 35B をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

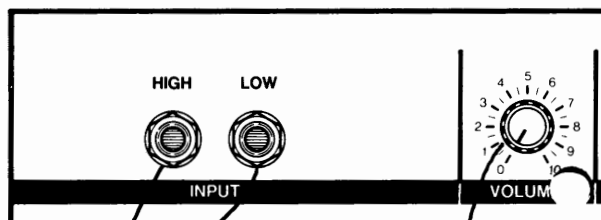
VX 35B は、ファッションナブルなデザイン of 密閉型キャビネットに出力 30W (R.M.S.) の高性能アンプと大口径 38cm ベース専用スピーカーをマウントしたビルトイン型ベースアンプです。

アップライトなチョッパーサウンドから超重低音まで音作りを思いのままにします。VX 35B があなたのミュージックライフの中で末長く活躍できるよう、この取扱説明書をよくお読みください。

ご注意

- 電気ギターとアンプを接続するときは、必ずギター側を先に接続し、次にアンプ側を接続してください。逆に接続しますと、スピーカーをいためる場合があります。
- 接続コードの脱着時や、電源のON/OFF時には、必ずアンプのMASTER VOLUMEを反時計方向にまわし、音量を絞ってください。
- 電源は必ずAC100V、50/60Hzの電源コンセントに接続してください。
- 物をぶつけたり、落としたりの乱暴な取り扱い、製品に悪い影響を与え、性能を劣化させますので、ていねいにお取り扱いください。
- 安全のため、落雷のおそれのあるときは、コンセントから電源プラグを抜きとってください。
- 雑音の原因となるネオンや蛍光灯からは十分に離して使用してください。

コントロールパネル



② VOLUME

音量をコントロールするツマミです。

“10”側(時計方向)に回すほど音量が上がります。

① INPUT

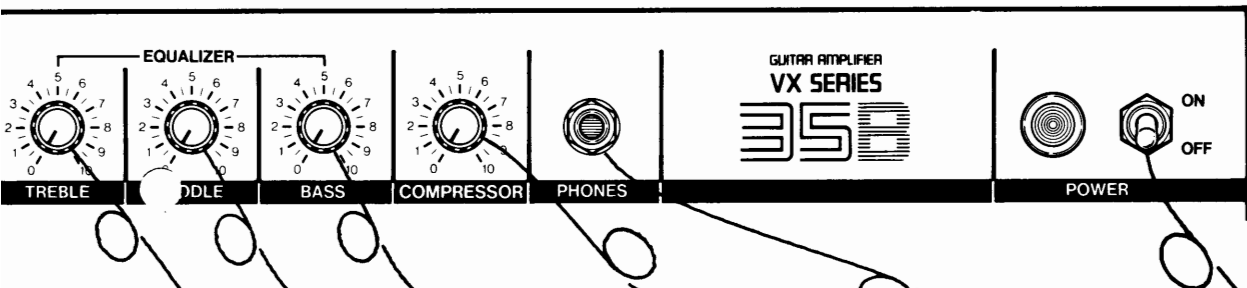
HIGH：ベースギターは、通常この端子に接続します。

高感度(-39dB)、高インピーダンス(340kΩ)のためLOW INPUTに比べると強力なベースサウンドが得られます。

LOW：低感度(-27dB)低インピーダンス(60kΩ)のINPUT端子です。

出力の大きな楽器を接続する場合やマイルドな音色が欲しいときに使います。

※HIGH/LOW INPUTへ同時に2本のギターを接続した場合は、HIGH/LOW INPUTともHIGH INPUT(高感度)となります。



EQUALIZER

③ TREBLE

高域をコントロールするつまみです。つまみが「5」の状態ではノーマルなサウンドが得られ、「10」側(時計方向)に回すほど高域がブーストされクリアーでアタッキーなサウンドになります。またつまみを「0」側(反時計方向)に回すほど高域がカットされてソフトで丸いサウンドになります。リフの強いメロディアスなベースを弾く場合は、このつまみで高域をブーストします。

④ MIDDLE

中域をコントロールするつまみです。つまみが「5」の状態ではノーマルなサウンドが得られ、「10」側(時計方向)に回すほど中域がブーストされ、豊かでメリハリのあるサウンドになります。またつまみを「0」側(反時計方向)に回すほど中域がカットされて、芯の柔らかなサウンドになります。音を前に出させる場合は、このつまみで中域をブーストします。

⑤ BASS

低域をコントロールするつまみです。つまみが「5」の状態ではノーマルなサウンドが得られ、「10」側(時計方向)に回すほど低域がブーストされヘビーで深い響きが得られます。またつまみを「0」側(反時計方向)に回すほど低域がカットされ軽いサウンドになります。ラウンドワウンド弦を張り、チョッパー奏法をする場合はこのつまみで低域をカットし、逆に中域から高域をブーストします。

⑥ COMPRESSOR

「10」側(時計方向)に回すほど音の立ち上がりを押しさえ、逆に減衰音を増幅するため、歪みのないクリアなサウンドのままロングサステインが得られます。

※使用しないときは、ノイズやミスタッチ音の発生を避けるためつまみを「0」にしておきます。

⑧ POWER

電源スイッチです。ONにすると電源が入り、左のバイロッドランプが点灯します。ハム・雑音が大い場合は、パワースイッチをOFFにしてから電源プラグを反対に差し換えてください。

⑦ PHONES

ライブステージなどで自分の音がわからないときのチューニングや、夜など大きな音を出せないときはヘッドホンプラグインしてプレイしてください。

※ヘッドホンを使用するとスピーカーから音は出なくなります。

リアパネル



FUSE

CAUTION

TO REDUCE THE RISK OF FIRE, REPLACE ONLY WITH SAME TYPE FUSE, 250V 1.5A



YAMAHA MODEL VX35B

PATENT PENDING



OZAWA KK
100V 24W 50 60Hz

日本楽器製造株式会社

CAUTION

SPEAKER IMPEDANCE 8Ω

CAUTION

TO REDUCE THE RISK OF ELECTRIC SHOCK, DO NOT PILOT LAMP SOLDERED IN PLACE. REFER SERVICE

WARNING

TO REDUCE THE RISK OF FIRE OR ELECTRIC SHOCK

9 FUSE

ヒューズを交換する場合は、必ず電源プラグをコンセントから引き抜いたのち同じ定格のものと同交換してください。なお、ご使用中におけるヒューズの断線はご使用上のミスのほか、故障などの原因によるものですから、お買い上げ店もしくは最寄りのヤマハサービスステーションにご相談ください。



これは電子機械工業
省のエテラット、
キャンペーンのシン
ボルマークです。

音楽を楽しむエチケット

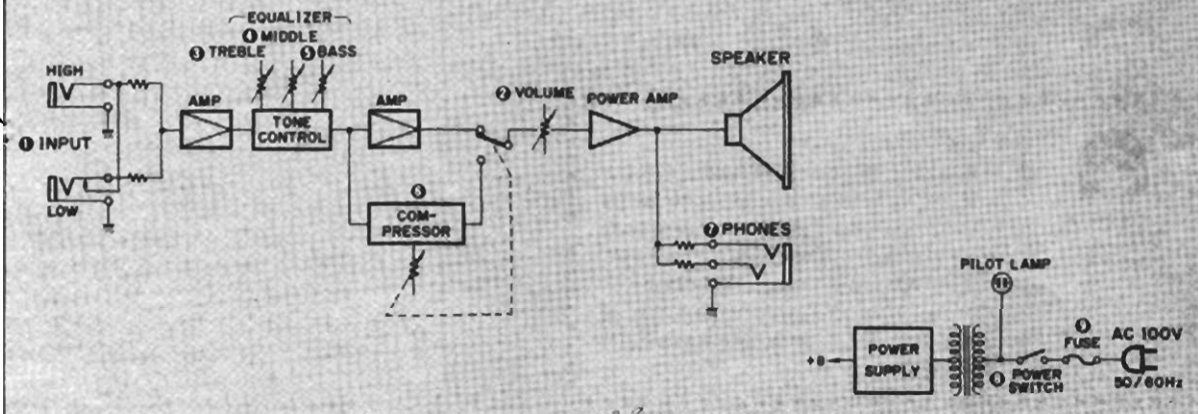
楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

仕様

定格出力	30Wrms (8Ω、T.H.D. 3%)
スピーカー	YAMAHA JA3811(38cm) × 1
入力端子	HIGH GAIN × 1、LOW GAIN × 1
入力感度(1kHz)	
VOLUME } max.	HIGH -39dB(9mV)
EQ.VOL. } max.	LOW -27dB(35mV)
ノイズ	-35dB (VOLUME→max.) -55dB (VOLUME→min.)
コントロール	VOLUME、TREBLE、MIDDLE、BASS、 COMPRESSOR、POWER SWITCH
ヘッドホンジャック	-8dB (0.3V) @ 30W(インピーダンス8Ω)
電源	AC100V、50/60Hz
消費電力	24W
寸法	538(W) × 692(H) × 306(D)mm
重量	26.0kg

*仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

ブロックダイアグラム



サービスのご依頼について

本機の保証期間は、保証書によりご購入から1ヶ年です。(現金、ローン、月賦などによる区別はございません。) また保証は日本国内にてのみ有効といたします。

● 保証書

保証書をお受け取りのときは、お客さまのご住所、お名前、お買い上げ月日、販売店名などを必ずご確認ください。無記名の場合は無効になりますので、くれぐれもご注意ください。

● 保証書は大切にしましょう!

保証書は弊社が、本機をご購入いただいたお客さまに、ご購入の日から1ヶ年間の無償サービスをお約束申しあげるものですが、万一紛失なさいますと保証期間中であっても実質を頂戴させていただくことになります。万一の場合に備えて、いつでもご提示いただけますように充分ご配慮のうえで保管してください。また、保証期間が切れましてもお捨てにならないでください。後々のサービスに際しての機種判別や、サービス依頼店の確認など便利にご利用いただけます。

● 保証期間中のサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買い上げ店にご持参頂きますと、技術者が修理・調整致します。この際必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合にはサービス料金を頂戴する場合もあります。又お買い上げ店より遠方に移転される場合は、事前にお買い上げ店あるいは日本楽器電音サービスセンターにご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申し上げますと同時に、引続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよう手続き致します。

満1ヶ年の保証期間を過ぎますとサービスは有料となりますが、引き続き責任をもってサービスさせていただきます。なお、補修用性能部品の保有期間は最低8年となっています。

そのほかご不明の点などございましたら、お客様ご相談窓口までお問い合わせください。

■ YAMAHA 電気音響製品サービス拠点

お客様ご相談窓口	
東京電音サービスセンター	〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4(龍名館ビル4F) TEL.(03)255-2241
東京ステレオサービスステーション	〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4(龍名館ビル4F) TEL.(03)255-2241
東京電音サービスステーション	〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4(龍名館ビル4F) TEL.(03)255-2241
横浜電音サービスステーション	〒231 横浜市中区本町6-61-1 TEL.(045)212-2223
新潟電音サービスステーション	〒950 新潟市万代1-4-8 (シルバー・ポウルビルヤマハ新潟センター2F) TEL.(0252)43-4321
大阪電音サービスセンター	〒565 吹田市新舞臺下1-16(千里丘センター内) TEL.(06)877-5262
大阪ステレオサービスステーション	〒565 吹田市新舞臺下1-16(千里丘センター内) TEL.(06)877-5262
大阪電音サービスステーション	〒565 吹田市新舞臺下1-16(千里丘センター内) TEL.(06)877-5262
四国電音サービスステーション	〒760 高松市丸亀町8-7 TEL.(0878)51-7777-22-3045
名古屋電音サービスセンター	〒460 名古屋市中区栄1丁目8-7 TEL.(052)231-2432
名古屋電音サービスステーション	〒460 名古屋市中区栄1丁目8-7 TEL.(052)231-2432
浜松電音サービスステーション	〒430 浜松市東伊場2-14-1 TEL.(0534)56-9211
九州電音サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL.(092)472-2134
九州電音サービスステーション	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL.(092)472-2134
広島電音サービスステーション	〒731-01 広島市安佐南区鞆町西原2205-3 TEL.(082)874-3787
北海道電音サービスセンター	〒065 札幌市東区本町1条9丁目3番地 TEL.(011)781-3621
北海道電音サービスステーション	〒065 札幌市東区本町1条9丁目3番地 TEL.(011)781-3621
仙台電音サービスセンター	〒980 仙台市大町2丁目2-10(住友生命仙台青葉通りビル) TEL.(022)22-6144
仙台電音サービスステーション	〒983 仙台市卸町5丁目7(仙台卸商共同配送センター内) TEL.(0222)96-0249

お預り品修理拠点

東京電音サービスデポ	〒171 東京都練馬区高野台2-3-10 TEL.(03)904-4901
大阪電音サービスデポ	〒565 吹田市新舞臺下1-16(千里丘センター内) TEL.(06)877-5262
名古屋電音サービスデポ	〒460 名古屋市中区栄1丁目8-7 TEL.(052)231-7896
九州電音サービスデポ	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL.(092)472-2134
北海道電音サービスデポ	〒065 札幌市東区本町1条9丁目3番地 TEL.(011)781-3621
仙台電音サービスデポ	〒983 仙台市卸町5丁目7(仙台卸商共同配送センター内) TEL.(0222)96-0249

本 社

営業技術課電音サービスセンター 〒430 浜松市中沢町10-1
TEL.(0534)65-1111

日本楽器製造株式会社

本社・工場 〒430 浜松市中沢町10-1
TEL.0534(65)1111

